

このままでは日本がダメになる!

取り組むべき緊急課題

1. 金融不安への対応

米・リーマンブラザーズ証券の倒産・民事再生法適用により、世界の市場が混乱しています。

そこで、民主党では、金融対策チームを設置し、特に日本経済の基盤である中小企業に対する貸し渋り・貸しはがしへの対策は急務であると考え、早急に対応するとともに、広く情報を公開し、不安を解消できるようにしていきます。

今世紀の日本は史上最長の好景気と統計上されますが、実感がわきません。国内に富や利益が蓄積され、内需が刺激を受け、海外からの日本への投資が増えるためにも、アジアにおける金融市場の整備を進めます。

2. “事故米”騒動の解決を

カビや国内では認められない農薬が検出された「事故米」を食用に不正転売していた事件は、ついにさいたま市内の給食でも発覚しました。問題とされたのが、輸入が義務づけられながら需要の少ない外国産米です。

平成7年度から19年度のミニマム・アクセス米輸入数量は865万トン、販売数量736万トン、在庫129万トン。特に、平成19年度の輸入額は578億円です。

この事件は、農水省と業者とのゆ着とともに、その陰には外務省がいます。カビ米や農薬米を生産国に送り返すことができず、転売をしている実態は「食の安全性」とともに「言うべきことを言う外交」によって解決できます。

“さいたま”から日本を変える! 地方議会改革を推進中!! 民主党 埼玉県第1区選出地方議員の紹介



浅野目 義英 県議・浦和区
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会
福祉保健医療委員会委員
民主党埼玉県連副幹事長



神崎 功 市議・緑区
昭和30年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
保健福祉委員会委員
民主党埼玉県連副代表

原田 健太 市議・浦和区
昭和42年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
文教委員会委員長、予算委員会委員
民主党埼玉県連副幹事長



高野 秀樹 市議・岩槻区
昭和35年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
文教委員会委員
議会運営委員会委員



三神 尊志 市議・見沼区
昭和55年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
総合政策委員会委員
予算委員会委員

民主党第1区総支部 事務所・所在地
■浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階
TEL:048-832-3810 FAX:048-832-3846
■岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12
TEL:048-749-6801 FAX:048-749-6802



号外
埼玉県(第1区版)
2008年9月27日発行

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL03-3595-9988(代表)

民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
Tel 048-833-3500
Fax 048-833-3503
URL <http://minshu.org>
E-mail info@minshu.org

たけまさ公一
ホームページアドレス <http://www.takemasa.org>

民主党は9月12日、次期衆議院選挙の埼玉県第1区に

たけまさ公一さん の公認を決定いたしました。



たけまさ公一さんのプロフィール

- 昭和36年(1961年)生まれ。
- さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校
慶応義塾大学法学部政治学科卒業。
- 平成元年、松下政経塾卒業。
- 平成11年4月 埼玉県議会議員2期目当選。
- 平成17年9月 衆議院議員3期目当選。
- 民主党NC(=次の内閣)外務(副大臣)担当
決算・行政監視調査会会長、埼玉県連幹事長。
衆議院外務委員会理事、予算委員会委員。

たけまささんの
主な活動地域
埼玉県第1区



小沢代表3選! 決意表明(9月21日)

民主党は9月21日、臨時党大会を開き、小沢代表の3選を正式に承認しました。小沢氏は「所信表明」と位置づけた代表受諾演説で、政策財源は「劇的な予算の総組み替え」で生み出すと説明し、マニフェスト(政権公約)で、実行手順を3段階で示す方針を明らかにしました。

財源論では「税金の使い方を根本から改め、財政構造を大転換しなければならない」と強調しました。「予算の総組み替え、国民の手による予算編成という考え方にに基づき、一般会計と特別会計を合わせた国の純支出212兆円の約1割にあたる22兆円を、段階的に主要政策の実行財源に組み替えていく」と説明しました。

マニフェストでは、3段階に分けて実行手順を明示する方針を表明。(1)09年度予算で直ちに実施(2)次期通常国会で関連法案を成立させ2年以内に実行(3)(衆院任期の)4年後までに段階的に実行——に振り分けるとしました。



1度民主党を中心とする政治に任せてください

生活を守るための6つの柱



たけまさ公一さんの主張
民主党埼玉県第一区総支部長

議員立法の発議者・提出者となった回数

氏名	衆・参	会派	本数
1 山井和則	衆	民主	9
2 武正公一	衆	民主	7
3 馬淵澄夫	衆	民主	6
3 佐藤泰介	参	民主	6
3 鈴木 寛	参	民主	6

2007年通常国会 2007.10.6 週刊東洋経済より

行財政改革

民主党の調べで約12兆円のお金が国から27,882人の天下りを受け入れている4,576の公益法人等に流れています(平成18年度)。そこで、天下り根絶法案を提出します。また、縦割り行政の弊害が公会計・公契約に現れていて、予算・決算の担当である財務省や、会計検査院がチェックできない法律の仕組みを変える法案も提出します。さらに、民間では罰せられるのに、国などに損害を与えても罰せられず弁償もしないという法律の仕組みは過去何度も法律を提出してきましたので、「今度こそ」その実現を図ります。また、地方分権の徹底とあわせ、中央省庁の地方支分部局は廃止します。

外交安全保障

日米同盟を基軸として、国際貢献の場である国連改革を進める一方、「言うべきことを言う」オールジャパン(世界中で活躍する日本人の力を総結集)の外交が欠かせません。既に、日米地位協定の改定案を民主党・社民党・国民新党とまとめ、「平成の条約改正」としてその実現に取り組みます。民主党では、たけまさ公一さんを座長として、沖縄ビジョン2008も取りまとめました。日本の国は、日本自ら守るという意識改革が必要です。拉致問題の解決等国民の生命財産を守る、領土領海を守るという姿勢が基本であります。

社会保障の立て直し

医療・年金・介護保険を全体として抜本改革を行います。後期高齢者医療保険は凍結・廃止が必要です。国民健康保険制度の見直しなど医療保険の統合と共に、医療費の支出の適正化に努めます。チーム医療として、人に手厚く限られた財源を工夫して有効に使います。消えた年金に加え、月額報酬の改ざんなど消された年金はまさに国のサギです。一件残らず探し、修正すると共に、年金制度は見なし積み立て型、基礎年金部分税方式を採用します。また、さいたま市を救急医療のモデル都市にします!

農業・環境

国の基は農業といっても過言はありません。食料自給率4割の現状を変えなくてはなりません。土地の相続により耕作放棄地が増えないように制度を工夫してなおかつ法人化を進めます。食の安全性を高めるチェック体制(民主党の消費者権利院法案)を強化します。たけまさ公一さんは、見沼田んぼ100年ビジョン有識者会議の事務局を務めています。そこで、クラインガルデン(週末を利用した家庭菜園)、道の駅、LRT等で地元野菜や地ビールの販売を例として雇用を生み出す地域振興とのバランスが必要と考えています。さらに、ヒートアイランド対策・地球温暖化対策(CO2排出権取引等)も視野に入れます。

経済(景気・中小企業)対策

緊急経済対策は皆さんの納得が得られるものでなくては効果の実が上がりません。そこで、4月1ヶ月だけ下げて元に戻した「ガソリン、軽油の暫定税率の撤廃」を引き続き実現させます。中小企業の承継税制については資産所得の補足のみ強化されないようにします。商店街は町の財産です。コミュニティの核です。行き過ぎた規制緩和である派遣労働法は製造業への拡大など元に戻すべきであります。また、さいたま市においては、地下鉄の岩槻延伸実現は、長期債務の削減・金利負担軽減を含め、埼玉高速鉄道の経営支援に徹底して取り組みます。

教育改革

高等教育無償化条項を批准していない国は日本を含めて3ヶ国だけです。国内総生産比でも公教育の費用は先進国最低です。もっと教育に、特に人に予算をかける必要があります。週5日制の検証とともに、公教育の立て直しを進めます。例えば、職業教育の充実では「ガイダンスカウンセラー法案」をたけまさ公一さんを中心に3度提出してきました。これは、小中高と、将来どんな職業に就くのかを体験できるように学校の先生以外の専門家などのアドバイスを受けられるというものです。就職してから転職に備えるため再び手軽に職業高校に戻ることができるなどの仕組みも必要です。

「政権交代」なくして「真の改革」なし!!